

## 平成 29 年度 第2回秋葉区教育ミーティング 会議録概要

|      |   |
|------|---|
| 開催日時 | 平成 30 年 1 月 31 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 45 分まで   |
| 会場   | 秋葉区役所 6 階 601・602 会議室   |
| 出席者  | 秋葉区自治協議会委員 21 名 (欠席 2 名)<br>教育委員: 齋藤教育委員、山倉教育委員<br>事務局: 教育総務課長、学校支援課長補、佐地域教育推進課指導主事<br>新津中央公民館長、新津図書館長、<br>秋葉区教育支援センター所長 他 1 名<br>秋葉区役所: 熊倉区長、小野副区長、松屋地域課長<br>傍聴者: 0 名  |
| 議 事  | 1 開会<br>2 教育委員挨拶 (齋藤教育委員、山倉教育委員)<br>3 平成 29 年度全国学力・学習状況調査について (学校支援課課長補佐)<br>4 意見交換 (司会 秋葉区教育支援センター所長)  |
| 司会   | 定刻となりましたので、これより平成 29 年度第 2 回秋葉区教育ミーティングを開会いたします。本日は足元の悪い中、また自治協議会前のお時間をいただき大変ありがとうございます。本日の進行を務めます秋葉区教育支援センター保科です。よろしくお願いいたします。それでは、はじめに秋葉区担当教育委員からご挨拶をお願いいたします。<br><あいさつ>  |
| 齋藤委員 | 皆さんこんにちは。教育委員の齋藤です。今年度より山倉委員と二人で秋葉区と北区の担当をさせていただいております。<br>秋葉区に関しては、今年度、数校、中学校区ミーティングにお邪魔して、今年のテーマは防災だったのですけれども、参加させていただきました。<br>今日は学校と地域のつながりということで、防災も含まれるかもしれませんが、グループに分かれて話し合いが行われると聞いております。皆様の活発なご意見を伺って、秋葉区、そして新潟市全体のよりよい教育に向けて、本当に微力ですけれども、尽力させていただければありがたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 山倉委員 | 山倉です。よろしくお願いいたします。<br>毎年、新潟市教育委員会と新潟市青少年育成協議会の共催で、中学生の私の主張コンクールを行っております。今年度の 12 名の発表の中で、内野中学校の方の私の大好きな内野、もう一つは東石山中学校の方の地域から愛される僕たちへという、私は地域と一緒に頑張っていきたい、そういう地域とともに生きたいという発表が二つありました。こちらの地区も、小須戸中学校の石井さんの先入観をすてて出会ったものという発表がありました。素晴らしい中学生の発表なので、ぜひ、来年度もありますので、皆さんから聞いて                      |

いただけたらいいなと思って、少しお知らせで入れさせていただきました。

今日は、皆さんとグループ討論ができるということで、楽しみにしてまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

司会

ありがとうございました。次に、出席者の紹介ですが、本日のミーティングは、主に自治協議会の教育を担当する第3部会の委員の皆様にご出席いただいております。また、第1部会、第2部会の委員の皆様も参加を希望されておりましたので、ご出席いただいております。

教育委員会事務局からも職員が出席しておりますが、皆さまに配付の座席表にて紹介に代えさせていただきますと思います。

本日、天候のせいもあって、欠席連絡が複数あり、出席者に変更がありましたので、座席表で、ご確認ください。それに伴いまして、A班の進行係も杉山委員に変更させていただきました。急な変更で申し訳ありません。よろしくお願いいたします。

本日のミーティングは、公開ということで記録を作成するため録音及び写真撮影を ご了承いただきたいと思います。なお、本日の会議概要につきましては、後日、教育委員会のホームページに掲載させていただきます。

また、本日のミーティングの終了時間は、この後に自治協議会がごしますので、午後2時45分とさせていただきます。ご協力、よろしくお願いいたします。

次に、次第4の平成29年度全国学力・学習状況調査の新潟市の結果について、学校支援課齋藤課長補佐から説明をお願いいたします。

齋藤補佐

<全国学力・学習状況調査の説明>

資料1をご覧ください。平成29年度の全国学力・学習状況調査の新潟市の結果です。毎年4月に全国の小学校6年生と中学校3年生が参加して行われる調査です。国語A、B、算数A、B、数学A、Bとあります。Aは基礎的な問題を、Bは応用の問題を扱っております。

小学生ですが、秋葉区の小学校6年生はご覧のとおり全国を上回ったという結果です。新潟市の先生方の授業改善というか、授業に取り組む努力が実って、小学校は政令指定都市でもトップの成績を取めたということです。

中学校3年生をご覧ください。ここ数年の新潟市の課題といえますか、いずれも秋葉区の中学生は全国平均並という結果になっています。中学校の先生方も授業の改善を進めているのですが、このような調査に結果として上がってこないというところなんです。我々も中学校の先生方に集まっていただいて、教科ごとに授業の進め方というか、どういう進め方がいいのかを学ぶ研修会を開いております。新潟市の中学校の先生を全員集めての研修会を行ったり、各中学校区で校長先生に集まっていただいて、どのようにしていくかという対策を練っていただいたりということで、一つは、教育が変われば授業の進め方も変わるということで、どのような授業を進めていくかを先生方とともに考え、授業改善に努めております。

3ページからは、児童生徒質問紙の結果です。私たちが非常に注目している数字がありあまして、3ページの6番です。自分には、よいところがあると思うかという質問です。第1回のミーティングでも、自己肯定感ということでお話があったそうですけれども、自分に自信があるというのはとても大事なことです。秋葉区の6年生は全国を上回って84パーセントの子どもたちが自分にはよいところがあると捉えています。

5ページの生徒質問紙です。秋葉区の中学校3年生はどうかというと、同じく6番ですが、自分にはよいところがあるか。これも全国を上回って72.6パーセントの生徒が自分にはよいところがあるととらえています。ただ、逆に言えば、7割の生徒は自分によいところがあると思っていますが、3割の生徒は自分によいところがあると思っていないという結果ですので、全国を上回っていることは大変嬉しいことなのですけれども、まだまだこういうことに対しての指導というか取り組みが必要だと思えます。

関連しますのが、4ページの34、38番の質問です。非常にシンプルな質問なのですが、先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますかという質問です。秋葉区の小学6年生は90.6パーセントが認めてくれているという回答です。34番で行くと、学校で会うことは楽しいと。このようなことも自分に自信を持って生き生きと学ぶという点ではとても大切な質問項目だと思っております。

中学校3年生を見ます。36番、学校で友達に会うと楽しいか。97パーセント。そして、先生はあなたのよいところを認めてくれているかが80.9パーセントということで、いずれも全国を上回るいい結果となっております。

続いて、先ほどの中学生の問題に触れたのですが、関係するのが3ページの29番です。家で自分で計画を立てて勉強をしているかに対して、秋葉区の小学生は79パーセントが自分で計画を立てているといっています。しかし、16番、土日に2時間以上勉強している児童の割合があるのですが、これが全国を下回っています。関連して、4ページの31、32番、家で予習復習しているかということなのですが、予習復習も6年生は46パーセント、60パーセントと全国を上回る取り組みをしています。

5ページ、秋葉区の中学生です。31番、自分で計画を立てているという生徒が56パーセントおりますが、16番、先ほど小学生は低かったのですけれども、土日に2時間以上勉強をしているという、これは中学校3年生ですので、受験を目の前にした生徒なのですが、全国41パーセントのところ34パーセントです。さらに、6ページの33、34番、予習復習のところです。ここに来て中学生は家での予習復習が全国を下回っております。授業の進め方も、改善しようと取り組んでおりますが、もう一つの私たちの視点は、家庭学習をいかに進めるかということも取り組んでいるところです。家庭学習ですので、今までは家庭にお任せというところもあったのですが、そうではなくて、学校できちんと家庭学習の仕方を教えたり、家庭学習のスタートを学校で始め

たりという取組みが始まっています。中学生の家庭の学習をさらにさせたいというのがこの結果からも分かりまして、今、取組んでいるところです。

最後に、実はこの質問項目がたくさんありまして、我々も、各学校も分析しているのですが、一つだけご紹介したいのが、4ページの52番、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。97.9パーセントです。生徒の方を見ますと、6ページ、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。94.4パーセントです。理由があればいじめはやむをえないとか、いじめられる側にも問題があるというような、誤った考えがまだあるのです。これは確かに90パーセントを超えていますが、私たちはぜひこれを100パーセントにしたいと思います。いじめはどんな理由があってもいけないことだということを、ぜひ、児童も生徒も100にしたいということを強く願っているところです。

司会

ありがとうございました。

このあと質問を承りますが、事前をお願いしたようにお一人一質問とさせていただきます。時間内にお受けできなかった質問に関しては、秋葉区教育支援センターを通して、お答えします。あらかじめご了承ください。それでは、ただいまの説明についてご質問ご意見がある方は、挙手願います。

時間も限られておりますので、次に移らせていただきます。質問時間がとれなかったものについては、のちほど支援センターを介して、回答させていただきますので、秋葉区教育支援センターにお問い合わせください。

牛腸委員

昨年も質問させていただいた件にかかわるのですが、やはり、多少改善しているけれども気になるので、またあえて質問させていただきます。

2点あります。やはり小学校を国語Aから算数Bまで全部見ても、全国と比べるとプラス2.2点と、僅かですけれども全国よりはいいのです。ところが、中学3年生になると、ほんの僅かではありますけれども、全部全国よりも悪い。これはやはりいかがかというように、なぜ下がるのか。先ほど家庭学習が足りないというような話がありました。小中にわたって足りないわけだから、それは理屈にならないと思っております。どのように分析してどのような対応、指導を図っているのか、分かったら聞かせていただきたいのですが、それに関わって、先ほど小学生は非常にいいという話で、私も今年度、全国と比べると国語A、B、算数A、B合わせてプラス5.8だから、なかなか頑張っていると思うのですが、でもちょっと待ってくださいと。全国比を見ますと、平成27年度はプラス28.1なのです。平成28年度はプラス15.0と、小学校6年生はとてもいいのです。ところが、今年はプラス5.8に下がっていて、だんだん下がってきているのではないかと。これはゆゆしき問題ではないかと思っております。

ここ一、二年、新潟市も全国と比べると15.7から11.8まで下がってきているでしょう。途中までとは言い切れませんが、いいのかなと思うのですが、その辺の分析と市教育委員会としての対策を聞かせていただけたらあ

りがたいと思います。

齋藤補佐

ありがとうございました。中学校について、どの区でもというか、実は学校からもいろいろと質問をいただいて、われわれも懸命に分析をして取り組みをしております。授業の進め方という話をしましたけれども、教師が一方的に教える講義型から、何を学ぶのかという課題を自覚して、そして何を学んだのかを自分でまとめるという、課題とまとめをしっかりとやりましょうということに、実は新潟市は5年前から取り組んでいます、小学校では本当に浸透いたしました。それがこの結果に現れていると思います。中学校は、厳しい言い方をしますが、まだまだ浸透が不十分だと思っております。それについて、先生方にも何とか取り組んでほしいと強くお願いしておりますし、具体的にどうするかもともに考えております。

もう一つ、家庭学習も、実は、小学校は取り組んでいるのですが、内容的にまだまだ不十分ではないかと思っております。小学校の家庭学習がよくて中学校が悪いのではなくて、小学校のときに中学校でも予習復習ができるような家庭学習をしていなかったのではないかと。つまり、先生がドリルを何ページやってきなさいと言って、時間はたくさんやるのだけれども、子どもが考えてやっていないということで、今の小学校の先生方にも家庭学習のあり方を、もっと子どもが考えて子どもができるような家庭学習をしましょうということを投げかけているので、中学校だけの責任ではないと思っております。

それと、最後のお話ですが、本当に厳しいご指摘というか、ありがたいご指摘だと思っております。確かに今回、新潟市が政令指定都市で小学生のトップになったといっているのですが、全くそのことで喜んでいる場合ではないと思っております。全国の調査を基に不十分だったところを補って行って、もっと結果というか力をつけていかなくてはいけないと思っております。これで喜んでというか満足してはしません。ただ、小学校が下がっているという認識はなくて、年によって随分上がり下がりがあるものですから、確かに右肩上がりには上がっていませんが、毎年その学年の6年生と3年生の結果を分析して、それに対応した対策を練っているというふうに取り組んでいきたいと思っております。

牛腸委員

今、教育委員会学校支援課の方のお話は分かりましたけれども、大事な基になっている教育委員はどのように捉えて、分析しておられるのかと思ったのです。

大変話しづらいのですが、去年は同じ指摘に対して、ある教育委員は、中学は部活があると。それから優秀な子どもはみんな私立へ行くからという指摘がありました。全く当たっていないではないですか。教育委員の認識はそんなものなのかと、私はがっかりしたのです。どれも理由にあてはまっていない。それが新潟市の教育行政をリードする教育委員の話かと思ってがっかりしたのです。大変言いにくいことを口にさせてもらいましたけれども、どのように捉えているのかお聞きしたいと思います。

齋藤教育委員

教育委員というのは、この数字そのものとか現状をどう分析するかという、こういう言い方をすると語弊があるかもしれませんが、役目の委員ではないと思っています。私たち、山倉教育委員も共通の認識です。

私たちは事前に説明を受けておりますけれども、今、学校支援課から、各区あるいは新潟市の取組んでいる現状、それから全国に比べての数値、去年、一昨年からの推移は何っています。今、どういう取組みをしているか、私どもは把握させていただいておりますが、今のご質問、どう分析するかというお話があったのですけれども、差し障りがなければこういう言い方をさせていただきますが、今、学校支援課のほうから説明があったとおりで私は認識しております。

司会

他にございませんか。

飯田委員

国語の問題で、小学校と中学校、これは追跡調査ではありませんので、現状ですね。それは小学校は全国的にはよくて、中学校はちょっと、それが現状ということです。それは私は比べる気はありません。いいに越したことはないです。ただ、大切だと思うのは、国語の力を、ぜひ、アップしてもらいたい。いろいろな教科の基になるわけです。早い話が、読解力に劣ると時間があれば正答できるのにできないという問題もありますので、なんとか日本語のレベルアップをお願いしたいと思います。

司会

ご要望ということで承りました。

時間も限られておりますので、次に移らせていただきます。質問時間にとれなかったものについては、これから質問を書く用紙を配付しますので、のちほど支援センターを介して、回答させていただきます。秋葉区教育支援センターにお問い合わせください。

次に、次第の5の意見交換に入ります。

本日の教育ミーティングのテーマは「学校と地域のかかわり～今後どうあるべきか～」です。

8月31日に行われました第1回秋葉区教育ミーティングでの話し合いをまとめたところ、事前にお渡しした資料のような内容になりました。これまでの取り組みの成果として、自己肯定感の高まり、教師の負担の軽減、地域と学校との距離が近くなったなどがあげられ、具体的な姿として、あいさつ運動やまちかど放送局、防災訓練の話題があがり、成果はたくさんあるという秋葉区においては、非常に高い評価を得ていました。

逆に、課題として上げられたことに「まだまだ学校に足を運ぶ地域の人はい少ない。」「それぞれの学校がそれぞれでやっているの、統一感がない。」「地域と課題が共有されているか疑問だ。」との意見がありました。

それでは、どう取り組めばいいのかと言ったとき「学校にいく地域の人を増やす工夫が必要だ。」「小学校、中学校がそれぞれやるのではなく、地域として、まとまる工夫が必要だ。」という二つの意見に集約されました。

そこで、今日は、さらに具体的に「学校に入りやすい場づくり（具体的にどうすればいいか）」「小中学校がそれぞれでなく、地域で一緒に取り組むもの（具体例）」の2点についてアイデアを出していただければと思います。

送付した資料の中に、現在、取り組まれていることを参考までに配付いたしました。この後の話し合いのヒントにしてください。

これから話し合うもうひとつヒントとして、秋葉区の実践の取組のプロモーションビデオをご覧ください。

映像紹介

<秋葉区の実践紹介>

司会

このあと、話し合いのテーブルを作りますので、ご協力願います。  
ご協力ありがとうございました。

それでは、先ほどご覧いただきました 映像資料と事前にお配りしたプリントの資料をふまえ、実現できそうもないことでも構いませんので、今日はたくさんのアイデアを出していただきたいと思います。よろしくお願います。

それでは、最初は「学校に入りやすい場づくり（具体的にどうすればいいか）」についてです。

これから付箋を貼ってもらいますが、貼り方を簡単に説明します。説明のプリントで①学校に入りやすい場づくり（具体例）と書かれた方をご覧ください。そこに説明されている通りをお願いします。①まず、黄色い付箋を2枚ずつ取ってください。②次に具体例のアイデアを書いてください。（2分くらい時間をとる）③次に進行係から簡単に、適切な位置に付箋を貼っていきます。例えば、例に出ていた「遊びのボランティア」であれば、すぐできそうだけど、そんなにたくさん集められないなど思うので、十文字の太陽紙の右下に貼ります。④全員が貼り終わったら、考えた人はそこに貼ったけど、はたしてそこでいいのかを検討してください。⑤一番最後に一番右上、つまり、すぐできそうで、参加者も多い具体例を発表してもらいます。こんな感じをお願いします。

それでは、各グループで簡単に説明しながら、場所を考えて太陽紙に貼っていきましょう。全員が貼り終わったら、それぞれの付箋がその場所でいいかどうか話し合ってみてください。今日の進行は、各テーブルの●の方をお願いします。

それでは、第1ラウンドを始めてください。

グループワーク①

<ABCDの4つの班に分かれてのグループワーク>

司会

そろそろ、だいたい 付箋の場所は 落ち着いたでしょうか。

続いて第2ラウンドを行います。「小中学校がそれぞれではなく、地域で

一緒に取り組むもの」についてです。

これから付箋を貼ってもらいますが、貼り方を簡単に説明します。説明のプリントで②小と中が連携して地域と一緒に取り組めること（具体例）と書かれた方をご覧ください。そこに説明されている通りをお願いします。①まず、ピンク色の付箋を2枚ずつ取ってください。②次に具体例のアイデアを書いてください。（2分くらい 時間をとる）③次に進行係から簡単に、適切な位置に付箋を貼っていきます。例えば、「あいさつ運動」であれば、すぐできそうだけど、かかわる人間が多いし、学校どうしの日程の調整が必要でちょっと難しいと思うので、十文字の太陽紙の右上に貼ります。あとは、第1ラウンドと同じです。よろしくお願いします。

それでは、簡単に説明しながら、場所を考えて太陽紙に貼って行ってください。全員が貼り終わったら、その場所でいいかどうか話し合ってみてください。

グループワー < ABCDの4つの班に分かれてのグループワーク >

ク②

司会

それでは、このあと発表に入ります。発表内容は、テーブルごとに1番右上の角にあるものだけを発表してください。

これからグループの中で発表者を一人決めてください。全員一回立ってもらって、決まったグループから座ってください。これから発表の練習時間をとります。発表は、一番右上の具体例一つとその説明を1分程度で説明してください。それでは、練習を開始してください。3分後に発表してもらいます。

それでは、練習を始めてください。

練習をやめてください。それでは、発表してもらいます。最初に発表したい方いますか。それでは、○班からお願いします。

各班から発表してもらいましたが、お互いに質問や意見はありませんか。

赤塚委員

高塚委員が具体的な取組をしているので、この場で少し紹介させていただきます。

高塚委員

参加者を増やすために、ある程度、ターゲットを決めて、この活動では、どの年代から学校に来てもらうかと考えた。自分は、第二小学校で柿団地に関する学習を行った。それによって、柿にも興味を持ってもらい、消費にもつながった。このように仕事と学習を重ねることで、参加しにくい年代の地域の人間がかかわることも可能ではないか。

司会

たくさんのご意見ありがとうございました。最初にお話ししましたが、今日はアイデアを出す会ですので、結果を必ず実現する、というものではないのでよろしくお願いします。今後の活動の参考になればと思っています。

それでは、テーブルを最初の形に戻して、席におもどりください。

最後に秋葉区自治協議会第3部会の島倉副部長からご挨拶をお願いいた



島倉副部会  
長

します。

本日、齋藤教育委員、そして、山倉教育委員にこの秋葉区へお越しいただき、秋葉区の現状とこれからについて、まさに、同じテーブルでお話しいただきました。本当にありがとうございました。

教育ミーティングをグループで行うことで、秋葉区をより身近に感じていただけたのではないかと思います。本日話し合われたことを、そして、この秋葉区の取り組みを新潟市の今後の教育事業に参考にいただければありがたいです。

本日はありがとうございました。

司会

以上をもちまして、第2回秋葉区教育ミーティングを閉会いたします。皆さま長時間にわたりありがとうございました。

なお、自治協の委員の皆さま、このあと午後3時から隣の601・602会議室で自治協議会が開催されますので、席をお移りください。その際、ご自分のペットボトルをいっしょにお持ちいただくようお願いいたします。

議 事

5 閉会